

ラ。無情に時間だけが過ぎます…。マキエを入れながら沖を見てみると、たまに『バコッ』と魚が海面で跳ねます。『何の魚かな?』と思いつつ沖にマキエを遠投してよく見ていると、『バコッ、バコッ』と波紋が出ています。

『クワカ?』と、半信半疑で仕掛けを浅タナにして沖に超遠投。そこから流れて行く竿引きのアタリが! ゆっくり沖から連れて来たのは、40センチクラスの口太。『バ

コッ、バコッ』という音の正体はクワカでした。

ならばと、マキエを沖に広めに4杯、その潮上に2杯ずつ、足元まで計10杯程を入れて、仕掛けは先ほど同様、超遠投で流すこと30分…1時間。

時間だけが過ぎ、ツクエを触らないが、ひたすら浅タナで待つていると、ウキが少し入ったかなと思ひ、誘いを入れて道糸をゆっくり張ってやると穂先に『コンコン』

り、12時に撒収することのことで、早めに片付けて終了。

今回、秋クワを『何とか1匹』という思いで来ました。フタを開けてみると、数・型に恵まれて嬉しい釣果となりました。

しかし実際は、秋磯は結構厳しくて、クワ釣りの中で秋が一番難しいと私は思っています。それは、エサ盗りが多い。クワがまだ瀬に付いていない、もしくは少ない。クワが入って来ても、マキエに慣れてない。水温がクワの適水温より高いなど、難しい要因が揃っているからです。

そこで私なりの見解ですが、秋クワの要点として、①磯選びは釣れているエリアに行き、A級釣り場よりも奥まった地磯などを選ぶとエサ盗りも少なくクワもそこそこ居着いているのでクワが釣れる確率は上がります。

②マキエは多めに持つて行き、ほとんどエサ盗り用とい



今回お世話になった蝶栄丸(石原船長/☎090-7925-5130)



この日同行した堀ノ内氏もクロの他、マダイやフエフキなどの良型を釣り上げていた

う考えで打つようにします。

③タナは浅タナメインで、深く入れると他魚の確率が上がります。私の場合、釣れて来る魚によってタナ調整をします。例えば、ブダイやサンショウが釣れる時は浅く、ヒロ以上、バリも浅く、半ヒロから1ヒロ。イヌスミは良型だったらそのまま、小型の時は少し深く(30〜40センチ)と微調整をしながらクワのタナを探っていくようにします。

最後に…

久しぶりの磯でしたが、夜明け前に満天の星空を見ることが出来て感動しました。そしてクワの顔を久しぶりに見ることが出来て二重の幸せです。海を見てマキエを入れて、また海を見て仕掛けを入れて、クワのアタリを待つ…最高です。やっぱりクワ釣りは楽しい、ぜひ皆さんも!



9月下旬 林田さんと神野さん、揃って良型スジアラの釣果

～最近の甌島・里沖磯の釣果～



イシダイの好釣果をあげていた榎さん



双子島で良型クロを釣り上げていた久松さん



良型クロを釣り上げていた立石さん



良型シブダイを釣られていた津之地さん



良型スジアラを釣り上げていた谷口さん。仕掛けはイシダイタックルにライン30号、瀬スレワイヤー#36を3m、ハリスワイヤー#36を30cm、イシダイバリ23号、エサは冷凍イワシを使用したとのこと

甌島 里周辺

瀬渡し・船釣り

蝶栄丸

磯本格シーズン到来!!

定員40名

出航地 串木野港 船長 石原

携帯 090-7925-5130 090-9584-3048

イシダイ、クロ、オナガ、ヒラマサ、アラ、シブ...

